

埼玉県とタイ王国の経済交流 ～ウィンウィンの関係づくりを目指して～

埼玉県企業局・埼玉県産業労働部

タイ王国との覚書締結

国内需要の縮小や経済のグローバル化が進む中で企業が存続し業績を伸ばしていくためには、成長著しいアジアなどの海外市場に目を向けざるを得ません。海外でのビジネス展開には、言語はもとより法制度や商習慣などの違いへの対応が必要ですが、多くの中小企業にとっては自力での対応は負担が重く、支援が求められています。

これまで他国との通商政策は国が中心となっ
て行われ、地方自治体の支援策にはあまり目立
たものではありませんでした。しかし、多種多
様な中小企業が持つそれぞれの強みや弱みを
熟知しているのは地元の地方自治体であり、
地方が主体的に支援に取り組むことで、個
々の企業ニーズに合致したスピード感ある
海外展開支援が可能となります。

埼玉県では、2010年に県内製造業の競争力・
活力を高める支援施策検討のため、「時代を拓
く県内製造業未来戦略調査」を行いました。こ
の調査では、海外拠点の設置を検討している
国として、中国、ベトナムに次いでタイ王国
が3位となりました。タイは自動車産業が集
積している点で埼玉県と共通点があり、実
際に自動車部品メーカーなど県内企業のタイ
への拠点設置も進展していました。

こうしたことから、2012年に上田清司知事
がタイを訪問し、県内企業の一層の進出に
向けてタイ政府との協力関係を築くため、
ポンサワット工業大臣（当時）に経済交流
協定締結を申し入れました。翌年8月には
知事が再びタイを訪問し、日本の都道府
県としては初となるタイ政府との「相互
協力に関する覚書」を締結し、両国の中
小企業

が新たにグローバルビジネスを展開することを協力して支援することを確認しました。



現在では、タイ工業省との覚書締結
には埼玉県から自動車部品メーカーなど187社
が進出しています。

タイ政府との経済交流

タイ政府からも埼玉県に経済訪問団を派遣して
います。本年1月には、パースックワニット工業
大臣を代表とする訪問団が来県され、上田知事と
今後の両国の経済交流や協力関係について意見交
換をしました。

また、同3月には、タイ工業省とタイ食品関連
企業からなる訪問団が来県し、「ガリガリ君」で
有名な赤城乳業株式会社のアイスクリーム工場を
視察しました。ガリガリ君はタイでも販売されて
いることから、総勢60人の訪問団の皆さんの関
心も高く、製造ラインを視察した後、品質管理や
営業戦略などについて、熱心に質問をされていま
した。特に、同工場の徹底した品質向上や衛生管



タイ訪問団の赤城乳業(株)工場視察

理の取り組みについては大変感激され、日本の食品産業の現状について理解を深めることができたとの言葉をいただきました。

埼玉県タイネットワーク

現地政府との協力関係づくりに加え、本県ではタイでビジネス展開する県内企業を支援するため、2013年8月に現地進出企業による「埼玉県タイネットワーク」を設立しました。このネットワークは、①参加企業間の現地でのビジネスや生活についての情報交換や相談、②ネットワーク企業間のビジネスチャンスの拡大、③現地政府への改善要望の集約、という3つの役割を担っています。

2014年8月には「埼玉県タイサポートデスク」をバンコクに開設しました。本デスクが核となり、年4回、ネットワーク参加企業向けにセミナーやビジネス交流会を開催し、普段はあまり集まる機会のない現地進出企業同士が顔の見える関係づくりをする場として活用いただいています。

ネットワーク参加企業も設立から1年半で115社となり、タイ政府とのさらなる関係強化によりタイ企業や県内企業相互のビジネス拡大に寄与していきます。

タイにおける技術協力

埼玉県企業局では、JICA草の根技術協力事業として、2011年度からPWA（Provincial Waterworks Authority：タイ地方水道公社。バンコク首都圏以外のタイ全土を所管する国有企業）に対し、水処理技術向上などの国際技術協力を行っています。PWAは、タイ中部のチョンブリ県において、乾期の水源不足や原水のカビ臭対策という課題を抱えていました。そこで、企業局では、同県において2011年5月から約3年間にわたり、浄水処理や水質管理などに関する技術や知識の習得を目標とした技術支援に取り組みしました。年2回、現地に技術者を派遣し、調査・指導を行うとともに、年1回、タイから研修生を受け入れ、企業局の浄水場で運転維持管理や高度浄水処理技術に関する研修を実施しました。

これらの取り組みを通じて、企業局から提案した改善方法がチョンブリ県の浄水場でマニュアル化されるなど、技術の移転や実践が達成され、チョンブリ県の浄水場の運転管理は改善されつつあります。PWA総裁から事業の継続を求められるなど、タイ側からも高い評価を受けています。また、2013年からは、タイ北部の都市チェンマイや、東部のノンカイ県の浄水場においても、水質管理、施設管理などに関するPWA職員の技術力向上やこれらに関する技術・知識のPWA内での共有を目標に、新たなプロジェクトにも取り組んでいるところと



PWAへの技術支援

官民連携による海外展開

企業局では埼玉県内の水処理メーカーである前澤工業株式会社と、2011年6月に連携協定を締結し、タイ・チョンブリ県にあるアマタナコン工業団地における同社のハイブリッド膜システムによる高度な工業用水供給の事業化を支援しています。前澤工業(株)とタイ工業団地公社総裁やアマタコーポレーション社（アマタナコン工業団地を運営）幹部との会談の実現、実証事業の評価委員会への企業局職員の派遣などを通じて、同社のビジネスを支援してきました。現在、同社では本格的な実証プラントを建設する予定であり、連携の取り組みは着実に成果をあげてきています。

また、昨年11月には県内企業4社を含む訪問団を現地に派遣し、通常企業単独では困難なPWA浄水場の視察やPWAへの製品の売り込み、前澤工業(株)の実証プラント視察を実施するなど、これまでのタイにおける活動を通じて培った信頼関係を活かしながら、水関連県内企業の海外展開を支援しています。今後も、県内企業がタイ王国の成長に貢献するとともに県内企業自身も成長するというウィンウィンの関係づくりを進めていきます。